

「シネマ&サイン パラダイス」 エッセイ募集のお知らせ



SDA 出版委員会では映画の中のサインについてのエッセイを広く募集いたします。

映画館にわざわざ行かなくとも家でくつろぎながらお手軽にビデオを楽しめる時代、あなたの好きな映画、心に残る映画は何でしょうか？

日頃わたしたちが接する古今東西の映画の中には、さまざまな場面で看板や張り紙などの「サイン」が登場します。

サインのプロにとってそうした場面はとても気にかかり、サインとはまさに時代や世相を語る小道具であることに気づかされます。たとえば、現代物だったらデジタルサイン、三丁目の夕日的なレトロ看板、時代劇で見るおふれがきや立て札、あるいは具体的な文字などなくてもインディアンののろしもサインと言えますし、千と千尋の神隠しに出てくるお風呂屋のような看板建築もサインの一種でしょう。さらに広げて音のような目に見えないサインもあるかもしれません。

感じ方は人それぞれ、映画の中で見つけたサインについてのエッセイをお寄せください。映画のジャンルは問いません。どこの国のどの時代のもので結構です。TVドラマ演劇なども含みます。

ご用意いただく原稿

【テキスト】

1 作品につき 800 字程度（長くてもかまいません）
おひとりで何作品でもお書きいただけます。

【テキストを説明するビジュアル】

1 作品につき 1 点以上
ただし、著作権の問題から**映画のシーンの写真を無断で書籍等に掲載することができません。**
したがって、ビジュアルは写真そのものでなく、必要なシーンを挿絵やスケッチにする、あるいは再現シーンを作って撮影するなど何らかの工夫が必要となります。
イメージにつながる画像であればそれでも結構です。

【簡単なデータ】

あまり知られていない映画の場合、これから見る方のために簡単なデータを添えてください。（メジャーなものは結構です）

題名、制作年、制作された国
監督、脚本、主演俳優名、音楽、受賞歴など。

【原稿データ送付先】

S D A 事務局 :sda@sign.or.jp

【問い合わせ先】

S D A 出版委員会
宮崎 桂、金田享子、加藤美香

発表は B L O G 形式で、W E B にて順次公開します。

